

当たり前がありがたい

八坂小学校 四年一組 いたう さわ

私は、4年生で水道水の勉強をするまで、

じやロから安全な水が出てくるのは、当たり前

前の事だと思っ ていました。でも安全な水を

私達が使えるのは、当たり前ではなく、とて

もありがたい事でした。

これから、私は、2つの事を意しきして、

水道水を使おうと思います。

1つ目は、水を大切にむだなく使う事です。

水 ー てきー てきをむだにしないために、私

達ができる事はたくさんあります。例えば、

菌みがきをする時は、水を出したままにする

のではなく、水を止めてから菌みがき出す事や、

お風呂のお湯はせんとくをする時にも使うと

いう事です。これらの事は生活の中でも

小さな事です。が、世界には安全な水がなく、

病気になる、てしまいう子もたくさんいます。だ

からこそ安全な水が使えろ私達は、むだなく

水を使わなければならぬと思ひました。

2つ目は、毎日水のために働いてくれている人達や、自ぜんのかに感じやする事です。私は水道水について調べて、私たちが、毎日安全な水道水を飲んでいるのは、水道局や、びょう水場など水に関わる仕事で二十四時間交代で働いてくれている人達がいるからだと分かりました。

また、一番おどろいた事は、私たちが飲んでる水は、はじめは雨水で、自ぜんのかや人のかでもろがなびをしてくさみのない美味

しい水ができているとい事です。そして、水は、かぎりあるし、げんの一つだとい事です。かぎりあるし、げんといのは、ふやす事が出来ない物です。

私は、雨がたくさんふるので、水はふやす事のできる物だと思っ、ていました。でも、地面にたま、た雨水は、びょう発して、少しずつ空へともどるので、そのくり返しで水はふえていないのでした。私たちは、トイレやお風呂で一日、たくさんのお水をよごしてしま

います。よごれた水は、たくさんの方が働いてくれているおかげで安全な水にまたもどる事を知る事ができました。

私はむ人島で、自給自足をするというテレビ番組を見ました。そこでは、水たまりのきかない水を、飲める水にするために身近なさい料を使ったりがしたりいろいろ工夫していました。けれど、たくさんさんの時間がかかり、結局くさみがのこってしまったりとおいしい水にはならない人もいました。その番組を見て私は、きかない水をきれいな水にするのはたいへんだとあらためて思いました。

私はこの作文や、水道の勉強を通して、日本は、安全な水を飲めるのは当たり前という考え方から、日本は水がきれいだからこそ水を大切にしなければならぬという考え方に変わりました。

いつでも、じゃ口をから安全な水を飲めているのは幸せな事で、そこには働いてくれている人たちがいて、とてもありがたい事な

の
だ
と
気
づ
き
ま
し
た
。